

## 九州国立博物館ボランティアについて

主任研究員 八尋智之

【ボランティア総数】 ※平成28年4月現在

383名(連携グループ含む)

### 【活動の種類】

- 展示解説部会    ○教育普及部会    ○館内案内(日本語部会・英語部会・韓国語部会・中国語部会)
- 環境部会        ○イベント部会        ○資料整理部会        ○サポート部会        ○学生会
- (連携グループ)・手話の会    ・睡蓮の会    ・ピカ美化隊(九博を愛する会より)

### 【ボランティアの資格・任期】

- 高校生以上        ○九博の事業に積極的に関心を有する方
- 任期3年(その後は、1年更新で3年間活動可)

### 【待遇】

- 報酬・食費・交通は支給しない    ○活動保険や事務用品、研修の費用は館が負担

### 〈活動の様子〉

#### ◆展示解説部会：4階文化交流展示室(平常展)の展示物解説 (86名)



小学生から大人まで、団体に合わせたわかりやすく、楽しい解説を心がけています。



毎日2000人近くの人を訪れる文化交流展示室  
毎週のように展示物(一部)が変わりますので、日夜、勉強しています。

#### ◆教育普及部会：1階あじっばで一緒に楽しみながら、展示物やその使い方を説明 (37名)



アジアの民族文化を紹介しながら、一緒に楽しんでします。幼児や小学生に大人気。もちろん大人の方も楽しんでいます。



楽器やゲーム、おもちゃの使い方・遊び方を一緒に楽しみながら説明します。これは中国ゴマに挑戦中!

#### ◆館内案内部会：1階での博物館の説明やバックヤードツアーの案内(4カ国語対応) (132名)

〔日本語：38名    英語：47名    中国語：14名    韓国語：33名〕



1階エントランスの専用カウンターに待機して、来館者への案内やいろいろな質問等に対応しています。



博物館の概要や建物のつくりなど、15分程度で説明しています。



希望に応じて英語・中国語・韓国語で案内します。最近は中国からの来館者が急増中。

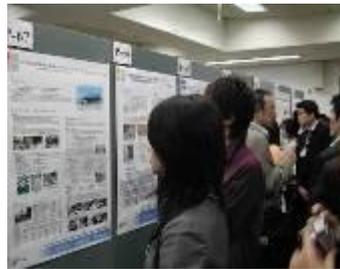


普段は見学できない収蔵庫や修復室へ案内するバックヤードツアーも、日曜日に行っています。

◆環境部会：博物館の環境保全、乾湿計や補虫器などの管理 （33名）



適正な環境が守られているか、害虫などが侵入していないか、館内を巡回しています。



保存修復学会等で、ボランティア（市民）としての自分たちの活動の様子を発表もしています。

◆イベント部会：季節に応じた来館者向けのイベントの企画・実施 （6名）



来館者に楽しんでもらえるよう、年数回、ボランティアの視点で、季節感のあるイベントを実施しています。



研修、そしてボランティア同志の親睦も兼ねたバスハイクなども企画・実施しています。

◆資料整理部会：1万3000点におよぶ郷土人形の調書の作成 （25名）



人形の大きさや特徴を調書に記入したり、文献を参考に人形を分類したりするなどして、1つ1つの人形のデータをつくっていきます。



調書作成が終わった人形は、1階ギャラリーで、期間ごとにテーマを決め、ボランティアの手で展示していきます。

◆サポート部会：ボランティア活動のサポートや広報紙の作成や他館交流の企画・実施 （24名）



それぞれの部会の活動を紹介する広報紙をつくるなど、ボランティア同志の横の交流が持てるような活動をしています。



他施設のボランティアとの交流を進めています。

◆学生部会：各部会の活動やイベントのサポート （9名）



館内でのイベントとコラボして、若者の視点（劇など）で博物館の紹介などをおこないます。



イベントや他部会の活動のサポートをしたり、いろいろなイベントに参加したり、盛り上げています。